

第9図に示すように 北上外縁帯の地向斜堆積物の大部分は ほぼ直接的に北海道南西部へ連続するようであり 本州北涯の地 下北半島尻屋崎(写真18)のジュラ系にも激しい地殻変動の跡を認めることができる。

小論で紹介した白亜紀(先宮古世)地殻変動の壮大なる広がり进行を想うとき はるかに津軽海峡を隔てて横たわる北海道主部(日高区)への構造発達史的比較基準としてのこの地殻変動の影響のもつ重要性があらためて強調されるのである。

参 考 文 献

蛭子貞二・吉田秀敏(1971): 北部北上山地田老帯の地質構造発達史. 地学関係5学会連合学術大会演旨 p. 481

花井哲郎・小島郁生・速水 格(1968): 白亜系宮古層群概報. 国立科博専報 no. 1, p. 20—28

半沢正四郎(1954): 東北地方(日本地方地質誌). 344 P., 朝倉書店

長谷弘太郎(1956): 小本附近に新たに確認された中生層. 総合研究「日本の後期中生界の研究」連絡紙 no. 3, p. 26—28

蟹沢聡史(1974): 火成活動および変成史よりみた東北日本. 地質学論集 no. 10, p. 5—19

片田正人(1974): 原地山層堆積時期の北上山地の火成活動および北部北上山地の古・中生層砂岩について. 地質学論集 no. 10, p. 41—45

———・大貫 仁・加藤祐三・蟹沢聡史・小野千恵子・吉井守正(1971): 北上山地, 白亜紀花崗岩質岩類の帯状区分. 岩鉱会誌 vol. 65, p. 230—245

T. KOBAYASHI(1941): The Sakawa orogenic cycle and its bearing on the origin of the Japanese Islands. *Univ. Tokyo, Jour. Fac. Sci., Sec. 2*, vol. 5, p. 219—578

T. MATSUDA and S. UYEDA(1971): On the Pacific-type orogeny and its model: Extention of the paired belts concept and possible origin of marginal seas. *Tectonophysics*, vol. 11, p. 5—27

M. MURATA and T. NAGAI(1972): Discovery of Conodonts from Sekkenai, Hiranai-cho, Higashi-Tsugaru-gun Aomori Prefecture, Japan. *Prof. Jun-ichi Iwai Memorial Volume*, p. 709—717

村田正文・杉本幹博(1971): 北部北上山地よりトリアス紀後期コノドントの産出(予報). 地質学雑誌 vol. 77, p. 393—394

小貫義男(1969): 北上山地地質誌. 東北大地質古生物研報

報 no. 69, p. 1—239

坂上澄夫・南川純夫・川島幹雄(1969): 北海道渡島半島上磯石灰岩のコノドントとその地質時代の考察. 地質学雑誌 vol. 78, p. 37—43

柴田 賢(1978): 地質年代尺度. 地球科学(岩波講座) 6, p. 157—173

島津光夫・田中啓策・吉田 尚(1970): 5万分の1地質図幅「田老」および同説明書. 54 P. 地質調査所

———・寺岡易司(1962): 5万分の1地質図幅「陸中野田」および同説明書. 53 P. 地質調査所

杉本幹博(1969): 北上外縁帯, 岩手県小本・田野畑地域の中生層. 東北大地質古生物研報 no. 70, p. 1—22

———(1972): 北部北上山地, 葛巻構造線および田老構造線について. 東北大地質古生物研報 no. 73, p. 97—109

———(1974a): 北上山地外縁地向斜地域の層位学的研究. 東北大地質古生物研報 no. 74, p. 1—48

———(1974b): 北部北上山地の構造地質学的意義. 地質学論集 no. 10, p. 29—40

———(1974c): 北部北上山地, 宮古市浄土ヶ浜地域の地質構造. 金沢大教育紀要(自然科学編) no. 23, p. 89—103

———(1975): 北部北上山地, 種差海岸地域の地質構造. 金沢大教育紀要(自然科学編) no. 24, p. 29—41

———(1977): 北上外縁帯(岩泉帯・田老帯)について. 地函研専報 no. 20, p. 75—81

———(1978): 北部北上山地, 岩泉地域の後造山期堆積物. 金沢大教育紀要(自然科学編) no. 26, p. 11—22

棚井敏雅・飯島 東・吾妻高志(1978): 北上北部岩手粘土鉱山付近の上部白亜系—古第三系. 地質学雑誌 vol. 84, p. 459—473

対島坤六・滝沢文教(1977): 5万分の1地質図幅「尻屋崎」および同説明書 36 P. 地質調査所

H. YABE(1914): Mesozoiche Pflanzen von Omoto. *Tohoku Imp. Univ., Sci. Rep. 2nd ser. (Geol.)*, vol. 1, p. 57—64

吉田 尚・片田正人(1964): 5万分の1地質図幅「大槌・霞露岳」および同説明書. 30 P. 地質調査所

———(1966): 地質調査所 UMP-A 帯研究成果. UMP地質構造部門 A-Zone 連絡紙 no. 7, p. 12—14

———・青木ちえ(1972): 北海道松前半島の古生層と渡島半島南部のコノドントの産出について. 地調月報 no. 23, p. 635—646

———(1975): 東北日本古・中生代地向斜の分化と発展. 地函研専報 no. 19, p. 103—114

学 会 掲 示 板

・日本火山学会

1. 昭和54年9月25日(火)~27日(木) [28日(金)有珠火山等見学旅行]
2. 日本火山学会1979年秋季大会
3. 北海道地区国立大学セミナーハウス(有珠の北東方)
4. 日本火山学会
5. 北海道大学理学部地球物理学教室
〒060 札幌市北区北8西5(011)711—2111 内2760)

・日本地下水学会

1. 昭和54年10月5日(金)・6日(土)
2. 日本地下水学会昭和54年度秋季講演会
3. 徳島経済センター
徳島市西新町2丁目2番地 TEL(0866)53—3211
4. 日本地下水学会
5. 〒213 川崎市高津区久本135 TEL (044)866—3171
地質調査所水資源課内
日本地下水学会